

新しいロゴに思いを込めて

～私たちのこんな思いが詰まっています～

- 形・・・個々は、それぞれ無限（インフィティ）の力を持っている。地域を表してもいます。
- 色・・・一人一人それぞれ違う。混ざり合って地域で生きている。ウィズのイメージカラーはオリーブ色をちょっと明るくしたグリーンとレモン色です。
- 材質・・・よく見ると布地です。いろいろな人がいろいろな人と関わりながら自分の人生や他の人との関係を紡いでいきます。
- WITH・・・ウィズは地域の中にある法人です。地域に見守られながら一緒に存在します。WはVが2つ。Various Values 多様な価値観を意味します。自分の価値観で関わるのではなく、様々な価値観があることを認め合うこと。一人一人が価値ある人間であることを意味します。



With 通信



社会福祉法人ウィズ
千葉県茂原市木崎1300番地1

TEL : 0475-47-2600

令和3年4月発行
創刊号



ごあいさつ

社会福祉法人 ウィズ
理事長 三好恵里子

社会福祉法人ウィズを2021年2月22日に設立登記し、4月1日からNPO法人で行っていた全事業を移しました。NPO法人ウィズとして約17年間活動してきましたが徐々に事業が拡大しました。今後次世代に引き継ぐにあたり社会福祉法人となり、より多くの方々に見守っていただき、ご指導をいただきながら事業を継続して行って欲しいとの思いからの決断です。

茂原市に本拠地を置き長生圏域を中心に活動しながら、障害をお持ちの方もお持ちでない方も、子供も高齢者も助け合いながら、暮らしやすい地域を作り、一人一人が自分の目指す生活に近づけることを目標としています。

若い職員が多い当法人ではありますが、若者ならではの発想と体力に期待すると共に、熟練者の経験と気配りを活かしながら社会福祉法人としての責務を果たしたいと思っております。

引き続き、ご指導ご鞭撻の程よろしくおねがいいたします。

社会福祉法人 ウィズの歩み

- 2004年5月 千葉県単ふれあいホーム「ウィズ」開設
NPO法人取得
自立支援法グループホームへ変更
- 2009年 ウィズの共同住居「スマイル」開設
- 2011年 就労継続B型「ARUKU」開設
「ARUKU」を多機能型（就労継続B&就労移行）へ変更
- 2011年3月 特定相談「民堵」開設
- 2014年4月 「じょい」多機能型（生活訓練・生活介護）を開設
- 2016年 ウィズの共同住居「ステラ」を開設
- 2018年10月 民堵に一般相談支援を追加
- 2019年2月 ウィズの共同住居「ヒュッケ」を開設
空床型短期入所開設
- 2020年5月 就労継続支援B型「EMU」を開設
- 2021年2月 社会福祉法人取得
- 2021年3月 「ヒュッケ」を共同生活援助（日中サービス支援型）へ変更
ウィズの共同住居「ルッカ」を開始

この先も助け合いながら、未来に向かって!!

運営理念

人は、一人では生きられない。自分の不得意な部分は誰かに助けられ、支えられ、自分の得意な部分では他の人を助け、支えながら生きている。自分が苦しい時には、誰かの手を必要とする。そして自分に余裕がある時には助けを必要とする人に手を貸す。

それは、家族においても会社においても、学校においても社会においても同様である。社会福祉法人ウィズは、障がいのある人もない人も裕福な人も貧しい人も、年長いた人も若者も全ての人と同じ時代を生きる者として、共に支え合いながら、生きている喜びを見出せる暮らしができる社会を目指す。

施設長・管理者紹介

民堵

(特定相談支援 一般相談支援 障害児支援)
今年度から障害児相談も行います。長生圏域で「計画書を書いてくれるところが無い!」ということが起こらないようにします。専門性+暖かい支援ができる民堵でありたいと思います。

民堵施設長 三好 恵里子

仕事が好きかもしれない・・・。だけど休日に孫と遊ぶことや旅も外せない! 還暦を過ぎ、ますますパワーアップ! 夜勤もやりたいのに若い職員たちに止められています(笑)



ウィズ

(共同生活援助(介護サービス包括型) 短期入所(空床型))
人それぞれ価値観は違います。自分たちの価値観に合わせるのではなく、一人一人の個性を生かした、その人らしい人生と一緒に歩んでいけるような支援を行っていききたいと思います。

管理者 藤崎 久美

動物に囲まれて、休日には歴史あるものを訪ね歩くそんなゆったりした生活を送るのが夢です。

ヒュッゲ

(共同生活援助(日中サービス支援型) 短期入所(併設型))
長生圏域では初となる、日中サービス支援型のホームです。高齢・重度の障害者でも、その人らしく地域で生活できる場所を提供します。

居住系統括施設長 本良 瞳

ウィズに入社しもうすぐ10年になります。いろいろな方と知り合い、たくさん勉強させてもらっています。

日中系事業所

(就労継続支援B型 就労移行 生活介護 自立訓)
ウィズにはARUKU・EMU・じよいの3カ所の日中活動の場があります。それぞれの事業所の特徴を活かして、「よりよく生きる」を応援していきます。

日中系統括施設長 森岡 飛鳥

現在育休を頂いており、8月に統括施設長と相談支援専門員として復帰します。仕事と育児の両立を目指します!

ARUKU (就労継続支援B型&就労移行)

ARUKUでは日中活動を通して得る付加価値を大切にしています。利用をする中で得た力を生かし、個人の考えの中で潤いを持った生活を送れるようになることを目指しています。

施設長 吉野 雅恭

最近ポメラニアンを飼い始めました。かわいい愛犬に毎日癒されています。

じよい (生活介護 自立訓練)

じよいは日中をゆっくりと楽しく過ごすことのできる場所です。仲間と旅行や買い物、散歩や体操などいろいろなプログラムに参加して一緒に楽しみましょう。

施設長 佐藤 陽子

海が大好きで昨年東京から引っ越してきました。サーフィン上手にならないかなー。練習あるのみ!(^^)!

EMU (就労継続支援B型)

お弁当部門「笑む」を軸に、名刺・封筒等の印刷や軽作業などを行っています。誰もが参加でき、達成感を得られるような“モノづくりの場”でありたいと思います。

施設長 森岡 俊

4月から施設長となりました。前職の製造業で培った経験をうまく活かしていきたいと思っています。

ウィズの共同住居「ルッカ」がオープン!

茂原市東郷に女性専用の共同生活住居を増やしました。定員4名のこじんまりとしたホームです。ウィズのホームでは初めてのオール電化住宅。内装は白で統一されたおしゃれなホームです。ウィズのグループホームは随時見学ができます。空室状況に応じ、体験もできます。ご興味のある方は、お問い合わせください。TEL: 0475-72-9605 (担当: 本良)



EMUでは名刺や封筒印刷をはじめました!

お弁当でおなじみのEMUですが、今年度より新たな作業として名刺や封筒の印刷を始めました。注文受付から構成、印刷まで利用者が責任を持ちご対応いたします。個人でのご注文はもちろん、企業様からのご注文も承ります。まずはご相談だけでも構いませんので、利用者直通アドレス「emu.print@with-om.sakura.ne.jp」までお気軽にご連絡ください。

ピアサポーター体験発表に参加

令和3年3月14日に開催されたNPO法人「千葉県精神障害者家族会連合会主催の精神保健医療福祉に関する講演会」においてARUKU(社会福祉法人ウィズ)の畠山聡さん、ワークショップ兼取(社会福祉法人ワナーホーム)の児玉明子さんが自身の体験を語りました。発病から現在に至る貴重な体験を聞くことにより、支援する私たちにとっても、素晴らしい講演となりました。※現在、畠山聡さん、児玉明子さんは社会福祉法人ウィズに入社し、生活介護事業所じよいと就労継続支援B型&就労移行事業所ARUKUおよび民堵でそれぞれ活躍しています。



畠山聡さんからひとこと

緊張しすぎて事前に用意していたものが全部飛んでしまったことが印象深い出来事でした。完成したDVDを見たとき「よく噛んでるなー」と思いました。

児玉明子さんからひとこと

当事者の声を必要とする人その心へ届く思いを発信し、一緒に未来を作りたいです。



令和3年2月27日に開催した理事会、評議員会において、右記のとおり役員選出を行い、就任いたしました。

長生地域のみなさまのご要望に沿うよう今後とも、役員、職員一同より一層努力いたす所存でございますので、ご支援ご厚情を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事・監事・評議員

理事	監事	評議員
三好 恵里子	大越 将司	村山 和雄
森岡 飛鳥	澁澤 茂	野崎 智久
本良 瞳		鶴岡 純一
野老 正樹		小林 幸夫
吉井 稔		中村 淳
鉢金 みゆき		伊藤 由美子
		川原 聡子

